

防災について考えましょう!!

平成23年3月11日の東日本大震災から、
2年経とうとしています。

日常の食事に感謝の気持ちをもちましょう

震災直後は、ガソリン等の燃料不足や流通経路の遮断、食品工場の破損等で食料や輸送等のライフラインが止まってしまいました。久寺家中学校の給食もパンと牛乳だけの簡易給食の日がありました。寒い時に食べていた、温かいご飯、汁物や煮物が無くなって、どれだけこれ等の食べ物が、身も心も温めていたのかが、はじめてわかりました。私たちが、日常あたり前のように食べている給食ですが、食材の生産者、納入業者、給食を調理する人達、そして給食費を払う保護者と、本当にたくさんの人々の力できているものです。もう一度普通の給食を食べられる幸せに感謝しましょう。

久寺家中学校での防災給食についての取組み

9月4日に防災給食をだしました。(9月1日防災の日)

メニューは、梅干しおにぎり、みそうどん、ゆで卵、バナナ

当日のおにぎりは、水道水が使用できなかった場合を想定して、

必要最低限の水を使いました又、食事前に十分な手洗いが

できなくなる事も想定して、調理員が握ったおにぎりを

1個ずつラップで包んで出しました。

いつもの給食と比べて質素でしたが、生徒達は日々の食事

に感謝しながら食べていました。



久寺家中学校では、今年度も地元の久寺家の農家の方々からの協力を得て、収穫したての新鮮な美味しい旬の野菜を納品していただき、給食で調理し、食べることができました。

成島 誠さん、日暮 正子さん、日暮 朱美さん、石山 正昭さん、
美味しい野菜をありがとうございました。